

1 講座名・キャンパス

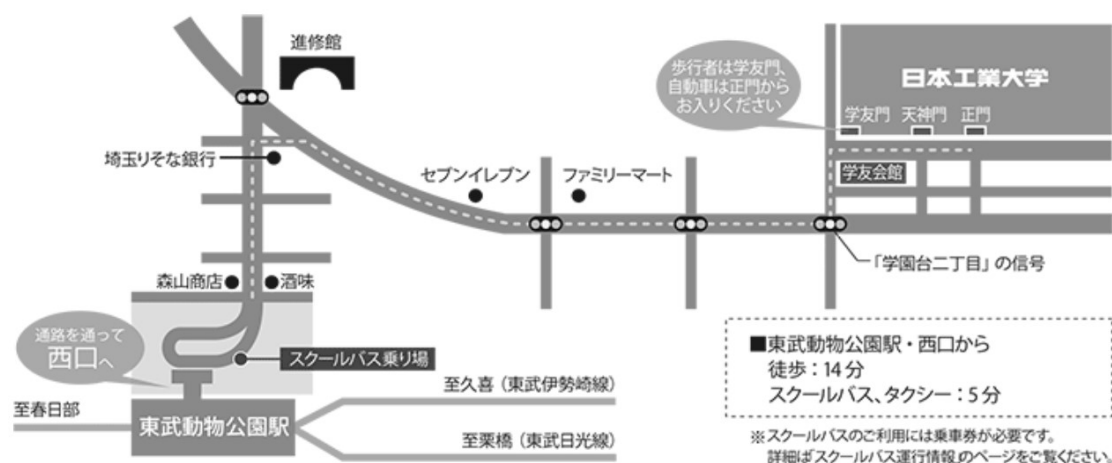
(1) 講座名

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	公開定員
電気電子通信工学の基礎Ⅱ	秋学期 (令和4年9月～ 令和5年1月)	月	4限	15:10～16:50	10名
西洋建築史		金	1限	9:00～10:40	10名
ライフスタイルと住空間		金	1限	9:00～10:40	10名

*この実施予定は6月20日現在のものです。コロナ感染症の状況や諸般の事情により、変更や中止になる場合もありますので、ご了承ください。

*本学の上記講座のお申し込みにあたっては、本学生涯学習センターホームページ (<http://www.nit.ac.jp/center/cooperation/life.html>) に掲載する「令和4年度秋学期要項」を熟読のうえ、お申し込みください。

(2) キャンパス（日本工業大学埼玉キャンパス）



東武動物公園駅西口より、徒歩14分、スクールバス5分。

JR宇都宮線・新白岡駅東口より、スクールバス12分。 *スクールバス料金：100円/

2 受講料・テキスト

(1) 受講料：1科目につき10,000円

(2) その他：教科書等の教材は自己負担によりご用意いただきます（書名、購入方法等は別途ご案内します）。

3 各科目の概要及び担当教員

科目名 (担当)	授業科目の概要
電気電子通信工学の基礎Ⅱ (電気電子通信工学科教員)	<p>本科目は、春学期に開講された電気電子通信工学の基礎Ⅰと同様に電気電子通信工学科で学習する専門科目について、幅広くオムニバス形式で学習する科目です。</p> <p>本科目では、「抵抗やコンデンサ、インダクタ、集積回路などの電気電子部品」、「マイクロコンピュータやその周辺機器」、「電波の性質やその応用」、「音や画像などに利用されるデジタル信号やその変換方法」、「工学分野において広く利用される最適化手法」、「放電現象や絶縁材の特徴などの高電圧分野」、「音響学」などをテーマに、基礎的な内容や最新のトピックを各分野の専門教員が講義します。</p> <p>2回を1テーマとして、1回目に講義、2回目に理解度テストを行います。</p>
西洋建築史 (西本 真一 教授)	<p>古代エジプトも含めた紀元前 3000 年ほどから近代までの、およそ 5000 年間にわたる西洋建築の流れを通覧しようとする授業である。</p> <p>建築史の流れは決して単純ではなく、何百年も前の時代の様式を真似したり、あるいはその模範を歪めることで新しい表現を試みたりする。</p> <p>ミケランジェロと言えば有名であるから、何となく美しい建築を設計した人であろうという印象を持ちやすいが、彼はそれまでの「建築の文法」を一部分、わざと欠落させたり、あるいは大きさやかたちを歪ませたりして新たな表現を求めた典型的な作家であり、「悪い冗談としか思えない」とも評された。全般的に多数のスライドを用い、代表的な建物を紹介する。</p>
ライフスタイルと住空間 (勝木 祐仁 准教授)	<p>ディンクスやディアルライフ、SOHO やコレクティブハウジングなど、現代におけるライフスタイルと、それを反映した住居のかたちは多様化している。さらに世界に目を向けると、自然(気候・風土)や文化(民族・歴史)の違いによって、多様な住様式を見ることができる。本科目では生活環境としての住空間の広がりに触れるとともに、社会的・文化的文脈を通して空間のしくみを理解することを目的とする。各回ごとにテーマを挙げ、プリント、スライドを用いて解説する。</p>

4 受講の申込み

(1) 申込期限 令和4年8月30日(火) (消印有効)

(2) 申込先 日本工業大学 生涯学習センター
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
電話：0480-34-4111 (内線 2273)
(職員在席時間：月曜日と水曜日の 9:00～16:00)
FAX：0480-33-7517
E-mail: shougai@nit.ac.jp

(3) 申込方法

以下の事項をご記入のうえ、E-mail、はがき、または FAX でお申込みください (電話での受付はしていません)。

① 〒住所 ② 氏名 (ふりがな) ③ 年齢 ④ 性別
⑤ 電話番号 ⑥ 受講希望科目 (複数科目の選択可)

(4) 受講手続

受講お申込を確認後、本学生涯学習センターより通知書を送付いたします。
この通知書を熟読のうえ、所定の期日までに受講料の振込み等、受講手続を行ってください。

(5) 新型コロナウイルスへの対応について

本学では各科目の開講にあたり、対面授業を原則として実施いたします。
キャンパス内では、教室の机の抗菌コーティング、アクリル板の設置、各所に非接触体温計やアルコール消毒液の設置等の対策をしています。また、学生や教職員一人ひとりがマスク着用、手洗い・消毒等の手指衛生など、基本的な感染対策に取り組んでおります。
受講を希望する方は、これら本学が定める感染対策にご協力ください。